

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

## ②施設・事業所情報

名称：ティンクルくぬぎ坂保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：清水 純子	定員（利用人数）：60名
所在地：〒216-0042 神奈川県川崎市宮前区南野川3丁目28-11	
TEL：044-920-9611	ホームページ：seisa.or.jp
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2015年04月01日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 星槎	
職員数	常勤職員：15名 非常勤職員：13名
専門職員	（専門職の名称）：名 栄養士：1名
	保育士：18名 調理師：1名
	幼稚園教諭：17名（保育士兼任） 看護師：1名
施設・設備 の概要	（居室数） 0歳児室 幼児用トイレ
	1.2歳児室 乳児用トイレ
	3.4.5歳児室 倉庫
	多目的ルーム 厨房
	事務所 テラス
	相談室

## ③理念・基本方針

## &lt;理念（3つの約束）&gt;

1. 人を認める
2. 人を排除しない
3. 仲間をつくる

の星槎の理念をもとに、こどもたちの健やかな成長のため家庭的な雰囲気の中で保護者を支え寄り添い、こどもたちが安心して生活できる保育園を目指します。星槎の理念のもと、園に集う全ての人に援助をしていきます。

## &lt;基本方針&gt;

- ・集団生活を通じていろいろな活動を積極的に経験し、様々な人と関わり、愛情と信頼感そして人を大切にする心を育てます。
- ・一人ひとりの成長発達を踏まえ、心身ともに調和のとれたこどもの育成に努めます。

## &lt;保育目標&gt;

こころもからだもいっぱいうごかそう

- 心身共に健康なこども
- 感謝の気持ちを持てるこども

- 誰にでも思いやりを持てることも
- 自主性、自発性のあることも
- 創造性のあることも
- 何事にも意欲的に取り組めることも
- 生命の大切さを知ることも

#### ④施設・事業所の特徴的な取組

<ティンクルくぬぎ坂保育園の質の向上に関する取組>

- 地域の子育て支援のため、園庭開放や行事に招待
- 在園児の体力向上に、体操教室やサッカー教室の実施
- 日本の伝統に触れ、礼儀や集中力を養うための和太鼓教室の実施

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年05月26日（契約日） ～ 2022年11月14日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（2017年度）

#### ⑥総評

【ティンクルくぬぎ坂保育園の概要】

●ティンクルくぬぎ坂保育園（以下、本園という）は、社会福祉法人星槎（以下、法人という）の経営です。法人は「星槎グループ」として公益財団法人、学校法人、一般社団法人等、学校運営・教育事業に力を注ぎ、国内外の支援事業等にも貢献しています。本園を含み6園（川崎市、横浜市に4保育園・2幼稚園）は星槎グループの幼児教育部門として法人全体の理念である共生社会の実現を目指して取り組んでいます。

●本園は、JR湘南新宿ライン武蔵小杉駅からバスで20分、徒歩5分程度の場所にあり、野川の団地や、新旧混在した住宅街に位置しており、1世帯当たりの子どもの数が比較的多い地域でもあります。また、地理的に高津区久末、横浜市都筑区東山田町、港北区高田町とも境を接する地域に所在し、近くには同系列園の野川南台保育園や、ティンクル上野川保育園があります。「全体的な計画」は系列4保育園で一緒に作成し、それに各々の地域性、保護者の情報を加味して園の「全体的な計画」とする等、互いに連携を図り、行事も共同開催の機会を設けています。

●園舎は2階建てで、広い園庭を有し、伸びやかな雰囲気があります。園庭は盛り土され、園前の道路からは見られない高さに整備された余裕のある設計となっています。但し、地形が谷戸であり、地上・地下水の水路に当たっており地質に悩みがあるものの、晴天の日は広い園庭で子どもたちは伸び伸びと遊んでいます。園舎1階は、3歳～5歳児の保育室・多目的ルーム・厨房・事務室が設けられ、2階は0歳、1歳、2歳児の保育室、テラス、屋上園庭が整備されています。

◇特長や今後期待される点

##### 1. 【園児の体力向上に向けた取組】

●本園では、在園児の体力向上に力を入れ、星槎グループでノウハウを有する体操教室やサッカー教室を実施しています。近年の子どもたちの危機対応力の強化に向けて、足腰を十分に使い、反射的に対応できる能力を身に着けるよう、体力・対応力の増強に努めています。特に、サッカーについては近隣の保育園対抗戦があり、5歳児が全員参加し、チームを形成しています。体操についても、法人学校教育部門の専門職員が指導を行い、基礎から体力増強につながるプログラムが構成され、一人ひとりの体力、危機対応力の

向上を図っています。

## 2. 【星槎グループが掲げる共生社会の実現】

●法人の星槎グループでは、集団生活を通じていろいろな活動を積極的に経験し、異年齢、異文化、障害を持った人たち等との交流を図り、法人の幼児教育部門に止まらず、学校法人国際学園や公益財団法人世界こども財団に至るまで「共生社会」の実現に向けた活動を見据えた展開を図り、社会全体の役に立つ人材の育成を展開しています。保育園については、障害を持った子どもを他児と一緒に育成する統合保育のノウハウを有し、障害を持った子どもが入園した場合も統合保育ができる体制を整えています。また、配慮を要する子どもについても一人ひとりの成長段階・発達を踏まえ、心身共に調和の取れた子どもの育成に努めています。

## 3. 【日本の伝統に触れ、礼儀や集中力を養うための和太鼓教室の実施】

●昨今、あらゆる生活場面で刹那的な傾向が窺え、今すぐ結果を得たい・出したい傾向は、思考力の低下につながりかねないことも懸念されています。保育に例えれば、生まれたばかりの子どもが、ポンと手を叩けば、いきなり3歳児、5歳児になるはずがありません。3歳児には3年間、5歳児には5年間の時間が必要で、その間にたくさんの経験をして成長をしていきます。本園では、和太鼓教室を取り入れ、その成長過程の中で日本の伝統に触れ、礼儀や集中力、考える力を養い、他人を認め、協調する等、たくさんの経験を提供しています。子どもたちは、楽譜の無い音のつながりを暗唱し、覚え込み、開始時の挨拶、周りの太鼓との音合わせ、体の構え、打ち方、周りへの配慮等、いろいろな要素が体に染み込んでいきます。また、5歳児が行う茶道も同様です。日本の伝統、礼儀・集中力を養う方法として、本園の和太鼓教室、茶道の経験は、刹那的な時代を奥深く見直すきっかけになると考えます。

## 4. 【地域との連携】

●前回（平成29年度）の第三者評価時では、本園は開所3年弱の新園であり、地域との連携はこれからの課題としていました。立地は宮前区南野川ですが、高津区久末にも接し、横浜市の都筑区、港北区にも近く、行政区画の入り組んだ地域であるため、地域的なつながりが弱く、地域との連携に苦慮されていることも伺いました。それから5年、園庭開放や行事に地域の方を招待する等、様々に取組を行ってきましたが、これらの成果が十分出ない内に新型コロナウイルス禍（以下、コロナ禍）により自粛となり、園庭開放等はほぼ実施できなくなっています。また、近隣はアパートや戸建てが建築され、新しい住民は町内会への帰属性がまだ低く、町内会が十分に機能していない上、コロナ禍になった現状もあります。近所には系列園が2園あり、連携を取りながら少し広域の地域連携を検討していますが、さらにコロナ禍の緩和、収束後に向けて、地域との連携の可能性を検証していかれることを期待いたします。

## 5. 【職員の採用と育成の必要性】

●職員の採用と育成はどの園にとっても最大のテーマです。開園10年目となり、特に、これから園を担っていく人材の確保に併せて、若手の人材を指導できる人材、法人の理念に沿った保育を進められる人材の育成が必要です。若手の人材を指導できる人材については、開所以来の経験値の高い職員が該当すると思われるので、「新5ヶ年計画」の中に新人の採用計画を組込み、法人として採用に努めると共に、中堅職員の教育については、キャリアアップ研修の受講と併せ、系列各園で主任、副主任等に中間管理職としての責任を促し、自ら行動する、他職員と一緒に行動する、指導する等、ステップを図りながら育成に当たられることを期待いたします。保育園は人の力に因るところが大きく、

機械化できない点が良いも悪くも最大の特徴であり、人の力・「育成」がキーポイントであると考えます。

#### 6. 【地域保育園再編と「新5ヶ年計画」】

●前回の第三者評価時に、星槎グループの幼児教育部門において認定こども園への変更を視野に検討されている旨を伺いました。今回特に、社会福祉法人星槎では、野川地区に中規模園が3園あり、川崎市から移管を受けた野川南台保育園は土地が川崎市保有のものであることも踏まえ、園の改築、再編成等が具体性を帯びているとのこと。今回、拝見した平成30年度策定の中・長期計画は、非常に良く練られた内容となっていました。次の「5ヶ年計画」の策定年度は、本来、令和5年度ですが、改築・再編成等については、理事会承認のタイミングや、実際の計画の確定等の時期が不整合にて、令和6年度からとする延期が必要な現状とのこと。環境が整い、実行するための一連の段階、達成すべき意向、ゴールを策定し、前回同様に充実した「新5ヶ年計画」を期待いたしております。

#### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名 ティンクルくぬぎ坂保育園

《第三者評価を受審した感想・自己評価での取り組みの感想》

一回目の時よりも年数が経っているので、自分たちのこの5年間のことを振り返ることができました。

保育内容の部分での評価内容の文言が日々、保育している者にとってうれしい評価が多く、うれしく思いました。

《評価後取り組んだ事として》

1. B、C評価に関しては、今後、職員と共に改善していくように進めていきたいと思えます。

#### ⑧第三者評価結果

別紙2のとおり